

CADPACCREATOR 2D Ver.19.0

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. レイヤー右パネル（プレビュー欄とツールチップ）.....	2
2. 部品一覧.....	2
3. 出図設定（前回保持）.....	3
4. 図枠検出.....	3
5. 外部入力ワイルドカード指定.....	3
6. ツールバーアイコン（サイズ変更）.....	3
7. 変形.....	4
8. ハッチング編集（異縮尺）.....	4
9. ネットワークライセンス（警告）.....	4
10. SXF 出力（エラーログ）.....	4
11. ファイル関連付けツール（解除）.....	4
12. 2D/3D InterFace.....	5

■機械オプション

13. 2010 注釈（皿ボルト用ざぐり）.....	6
----------------------------	---

■その他のオプション

14. JIS 機械パーツ Ver.19.0 用の部品ライブラリ.....	6
15. SolidWorks インターフェース.....	6

Ver.19.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.19.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.18.5 からの差分です)

汎用機能

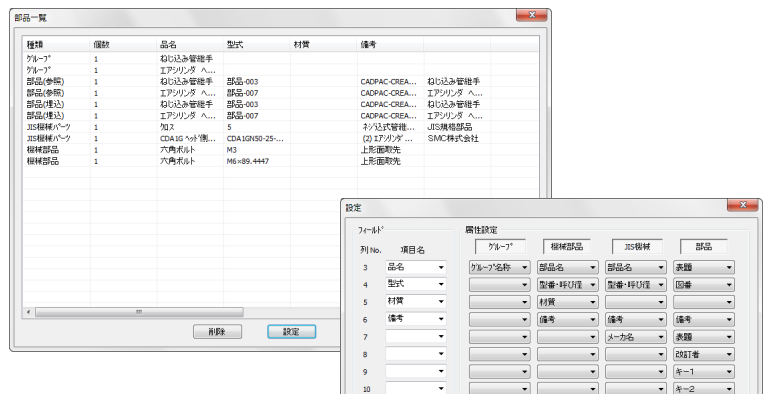
1. レイヤー右パネル (プレビュー欄)

レイヤー右パネルにプレビュー欄を追加し、現在の入力レイヤーにある要素を表示し、確認できるようにしました。プレビュー欄は非表示にすることも可能です。またマウスがレイヤー右パネルのレイヤー番号上にある時、オンマウス状態でレイヤー名称や縮尺を表示するかどうかの設定を追加しました。



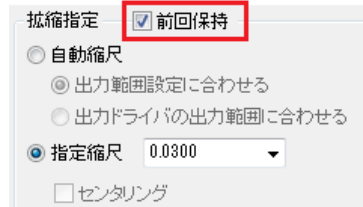
2. 部品一覧

図面に配置された部品や機械要素を拾い出し、一覧にして CSV ファイルで出力する新コマンドが追加されました。対象要素は、埋込部品、参照部品、機械オプションの部品、JIS 機械パーツの部品、グループ名称の付加されたグループ要素です。項目はそれぞれが持つ属性情報を指定して一覧出力が可能です。【構成 / 部品一覧】



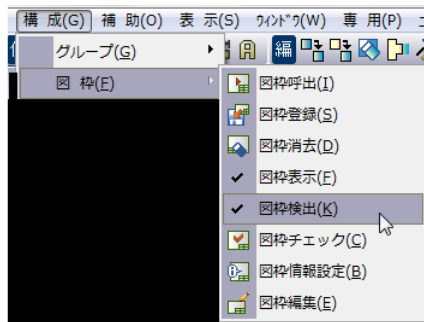
3. 出図設定 (前回保持)

出図コマンドの「拡張指定」で前回の設定を保持する機能を追加しました。前回保持を有効にすると、「自動縮尺」及び「指定縮尺」の設定が保存され、次回起動時にも有効となります。



4. 図枠検出

図枠検出の設定を使いやすいように、プルダウンメニューの構成 / 図枠に表示するようにしました。従来は「図枠編集」コマンドに図枠の検出・非検出の設定があり、指定に手間がかかりました。



5. 外部入力 ワイルドカード指定

外部入力系ファイル選択ダイアログボックスで、ファイル名リストのワイルドカード指定による絞り込みを可能にしました。
(STATION 入力、DXF 入力、DWG 入力、BMI 入力、DA フォーマット、IGES 入力、MPP 入力、JWCAD 入力、CADSUPER 入力、SXF 入力、ME10 入力、PDF 入力)

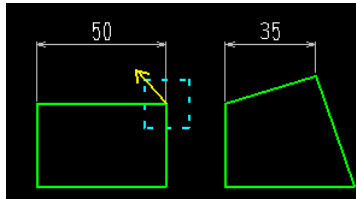
6. ツールバーアイコン (サイズ変更)

3K や 4K などの高解像度モニター用に、大きいサイズのアイコンツールバーを指定できるようにしました。同時にプルダウンメニューの第 2 階層以下の文字も大きくなります。(CSB や右パネルのサイズは変更されません) 【補助 / システム設定 / 表示】



7. 変形

平行寸法または連段寸法の水平・垂直モードで作成された寸法を変形の自由モードで変更する場合、その寸法性格を維持して変形するようにしました。（下記の例だと水平寸法を維持）



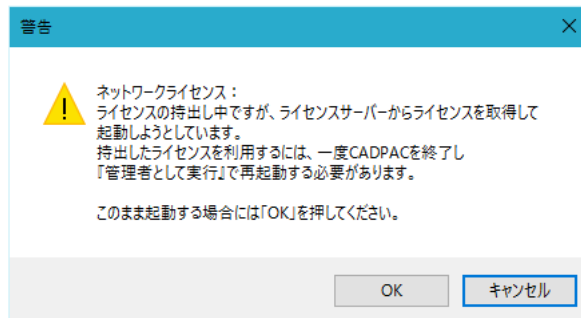
変形コマンド「設定 - 寸法引き出し線のみ検出された場合、寸法値の変更対象にする」の初期値をONに変更しました。

8. ハッチング
(異縮尺)

ハッチングの編集時に、異縮尺に対応しました。
基準縮尺以外のレイヤーにハッチングを配置後、基準縮尺を変更しハッチング編集をかけると基準縮尺でハッチングが再作図されてしまいましたが、レイヤーの配置された尺度で処理される様にしました。

9. ネットワーク
ライセンス (警告)

ライセンスが持出されている（可能性がある）場合や、ライセンスサーバーからライセンスを取得して起動しようとした場合、警告を表示してユーザーに知らせるダイアログボックスを表示するようにしました。

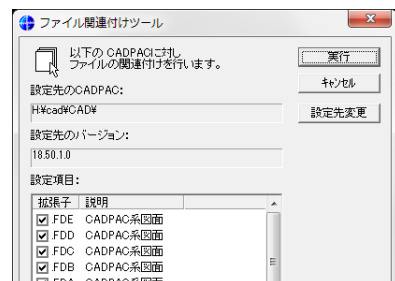


10. SXF 出力

エラーでSXF出力が正常に終了しなかった際、エラーの原因をログとして出力し、ダイアログボックスで表示するようにしました。

11. ファイル関連付け
ツール (解除)

ファイル関連付けツールに、すでに関連付いている拡張子のチェックマークをオフにして実行すると、関連付けを解除する機能を追加しました。



12. 2D/3D InterFace

【投影図合成】

新コマンド「投影図合成」が追加されました。

CADPAC-CREATOR 3D の機能「投影図転送」で出力された各投影図を 1 つの図面に合成します。

全体図を送ることが困難な大容量の 3D レイアウトを投影図毎に分割することで処理時間を軽減することができます。

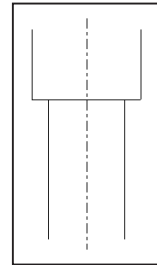
[専用 - CREATOR3D/ 投影図合成]

【3D 部品変換 - 中心線】

3D レイアウト上の穴系部品を 2D に転送した際、要素に付加された中心線の属性も受け渡せるようになりました。

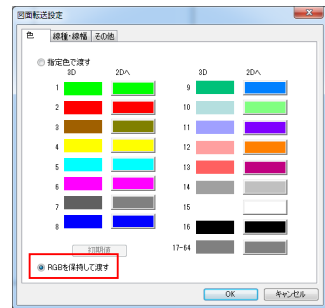
対応要素

3D (転送元)	2D (転送先)
ドリル穴	ドリル穴
タップ	タップ
皿ざぐり穴	皿ざぐり
ザグリ	深ざぐり
リーマ穴	穴作図



【色】

これまで 3D から 2D に渡すことのできる色は指定の 16 色のみでしたが、本バージョンから色の RGB 値を保持して渡すことができるようになりました。これにより 3D 側の要素色をそのまま 2D に転送、表示できるようになります。



【線幅】

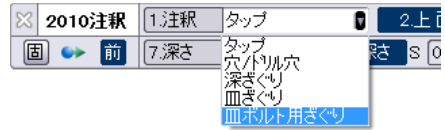
3D から 2D に渡すことのできる線幅の種類が従来の 3 種類（細，中，太）から 9 種類（0.13mm, 0.18mm, 0.25mm, 0.35mm, 0.5mm, 0.7mm, 1mm, 1.4mm, 2mm）に拡張されました。



機械オプション

13. 2010 注釈

「皿ボルト用ざぐり」に新規対応しました。



その他のオプション

14. JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.19.0 用の最新部品ライブラリに変更されました。部品点数は 60 万点です。保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでご利用いただけます。

15. SolidWorks インターフェース

SolidWorks 2017 に対応しました。